

# 《門司の環境を考える会》 辺野古埋め立て採石ニュース



2015年5月30日《No.8》  
連絡先  
森下 宏人…090-9495-3902  
八記久美子…080-1730-8895

奄美報告《2日目》砂が消える…現場視察、フォーラム、交流会・八記久美子

## 朝・昼・夜…いろいろなことを学びました

### 《消える砂浜…自然はバランスの中で生きている》



「子どもの頃は、段差はなかった」と話す、サーファーの碓山さん30歳。(手広海岸)



上と同じ場所。「昔は前方の岩は砂に隠れて見えなかった」の話を、みんなびっくり。(手広海岸)

2日目の朝は、手広海岸と用安海岸に行きました。両海岸とも奄美の地図で言うと、右側の上の方・奄美空港を下がったところにある海岸です。

両方の海岸とも、海砂の採取が原因で、浜の砂がどんどん減ってきたと言います。どこかが変化すると、その影響は必ずどこかに現れることを実感しました。

門司でも、関門海峡側(門司港駅の海側)に「西海岸」という埋立地が出てから、周防灘側の潮の流れが変わったと、地元の80代の漁師さんが話されていました。

辺野古の海に巨大な基地を作ったら、その影響はどこに・どう現れるか、予想もつかないと思いました。



「台風が来るたび、ごっそり砂が消える」と話す地元の方(用安海岸)



移動の合間に記念写真。左から、福岡・京都・愛媛・大阪

《昼の話は裏面です》

### 《夜は交流会》



昼は、フォーラム「奄美の海山を守り、沖縄に連帯するがありました」  
採石業者の発言にどきっ。住職・元教師の話に胸が熱く

夜行われた交流会では、環境団体・鹿児島と沖縄の両県議団・地域・マスコミなど、沢山のひと知り合うことが出来ました。民謡の大会で日本一になった方の島唄の演奏や、参加者がそれぞれの思いを述べました。この日奄美に来た沖縄県議団は、5人のプロジェクトチームで辺野古の埋め立てをさせないための、新しい条例作りをしているとのことで、会場から大きな拍手がわきました。

また、鹿児島県議会と奄美市議員のみなさんも「住職・元教師の話に胸が熱く

## 《平和が最優先ですよ》

午後は、フォーラム「奄美の海山を守り、沖縄に連帯する」が開かれ、山が壊れたら海が変わることや、外来種の侵入による環境破壊など、それぞれの立場からの報告がありました。

また、会場から採石業者の方の「石で食べている。買うところがあれば売ってもいいのではないか」との発言がありました。

私はドキッとしましたが、それに対し、参加者の住職や元教師から、「今は子ども達にきちんとした未来を残すこと・戦争に手を貸さないというのが、最優先されるべきではないか」との発言がありました。

私は「採石業者の人たちにも生活がある」ということが、重く引っかかっていたから、お二人の話に胸が熱くなりました。



左から、海の生き物を守る会の向井宏さん・日本自然保護協会の安倍真理子さん・環境ネットワークの園博明さん・プロサーファーの碓山勇生さん。



## 《喧嘩せずに解決を》

パネラーの碓山さんは、「子どもの頃から遊んできた広手海岸を、美しかった元の姿で、子ども達に手渡したい。また、行政と喧嘩するのではなく、一致点を見つけて、共に問題解決に取り組みたい」と発言されました。

私も、「土砂搬出問題」の相手は国。門司の業者の方と対峙する関係にならないために、どんな一致点があるのかを、みんなで考えなければと思いました。



サーファーの碓山さん

## よ・こ・み・ち



### ■ 地元紙で大きく報道

奄美では毎朝食事の後、ホテルの近所にあるコンビニに、地元紙2紙を買いに行きました。毎日トップニュースで、私達の取り組みが報道されていました。

### ■ 30年来の夢かなう

写真は、アダンの木。田中一村美術館の敷地で写しました。30年くらい前から大好きになった、田中一村の絵を見る事が出来て、本当に嬉しかったです。1日目と4日目と、2回も足を運びました。